



不安な妊婦の方へ 新型コロナウイルス検査について

不安解消のために検査を希望する方が対象です。 全員が受ける必要はありません。

対 象 (以下の全てにあてはまる方)	相談先
<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね妊娠 35 週から 36 週頃の妊婦の方 (※医師の判断により、検査の時期が変わる場合があります。詳しくはかかりつけの産科医療機関へお尋ねください。) ・うつ状態などの不安を抱える方、もしくは基礎疾患(慢性閉塞性肺疾患、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患等)がある方 	妊婦健診を受けている かかりつけ産科医療機関

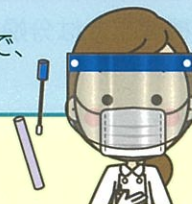
検査までの流れ

新型コロナウイルスに感染していたらどうしよう…
症状はないけど不安だから検査を受けてみたいな…



相談先：かかりつけ産科医療機関

検査の性質上、実際には感染していないのに、結果が陽性になること(偽陽性)や、感染しているのに結果が陰性になること(偽陰性)があります。
検査にはメリットとデメリットがありますので、十分理解してから、受ける必要があります。



検査場所：指定された医療機関や外来・検査センターなど
検査方法：鼻咽頭ぬぐい液または唾液を用います

検査結果が陽性(偽陽性も含む)となった場合

- ◎症状がなくても指定された医療機関に入院となる場合や、分娩施設が変更となる場合があります。(その場合、分娩費用が予定していた金額から変更となる可能性があります。)
- ◎分娩方法が変更され、帝王切開となる可能性があります。
- ◎分娩後の一定期間、母子分離(お母さんと赤ちゃんが別室での管理となり、赤ちゃんに触れたり、授乳することができない)となる可能性があります。
- ◎検査結果はかかりつけ産科医療機関と保健所が共有します。
- ◎退院後は、希望に応じて、助産師などによる専門的なケアや電話での相談支援を受けることができます。(くわしくは裏面をご覧ください。)

